

重点施策12 文化振興事業の充実

【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展・歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育み、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

□文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術展の開催
- ② 県展八幡浜移動展の開催
- ③ メセナ八幡浜との共催による美術展の実施
- ④ 八幡浜市郷土企画展「建築家 松村正恒」の開催

□文化会館事業

- ⑤ 文化会館管理・運営
- ⑥ 自主文化事業の開催
- ⑦ 企画プロデュース事業への助成
- ⑧ カルチャー教室・ロビー展の開催

□市民会館事業

- ⑨ 市民会館の管理運営

(2) 施策・事業の実施状況

□文化・芸術事業の振興

① 八幡浜市美術展の開催

市民より作品を募集し、絵画（洋画、日本画、）版画、書道、写真、陶芸等の各分野から特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会賞、推奨等の表彰を行い、作品作成の励みとなるようにしている。観覧料は無料である。観覧者 1,758 人（八幡浜市美術展委託料）400 千円

② 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心にして、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）版画、書道、写真、陶芸等の作品を展示し、これも八幡浜市美術展と同じく無料で市民に鑑賞してもらっている。観覧者 958 人（県展八幡浜移動展委託料）233 千円

③ メセナ八幡浜との共催による美術展の実施

メセナ八幡浜との共催による美術展については、前述した八幡浜市美術展、県展八幡浜移動展と趣旨の異なる方向から、主として国内外のレベルの高い作品を中心とした有料の絵画展を、八幡浜商工会議所と共催する形で、市民に提供している。ちなみ

に、ここ5年間は、現代日本画名作展、魯山人の宇宙展、海を想う～海に魅せられた画家たち～、カリブ海の詩情と芸術 ハイチ絵画展、日本近代洋画への道—山岡コレクションを中心に—を約1か月の会期で八幡浜市民図書館内の市民ギャラリーで開催し、毎回数千人単位の入場者がある。平成25年度は「煌めく日本画の世界」を開催した。観覧者4,236人

④ 八幡浜郷土企画展「建築家松村正恒展」

八幡浜市職員であった松村正恒氏の設計した建物を紹介し、また、国重要文化財日土小学校に連なる作品を紹介した。松村氏の名を八幡浜から全国に向けて発信することが出来、市民の郷土愛の醸成につながった。入場者数1,088人

(八幡浜郷土企画展費用 2,330千円)

□文化会館事業

⑦ 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育み創造を図るとともに、生涯学習の拠点として自主文化事業の他、貸館業務や企画プロデュース事業、カルチャー教室、ロビー展などを展開した。

⑧ 自主文化事業の開催

市民の要望、ニーズに応じて歌謡曲から古典芸能といった幅広いジャンルから事業を選定、特に音楽ホールとしての機能を重視して整備した大ホール及び世界最高峰のピアノの配置を考慮し、クラシック系のコンサートも開催し、鑑賞型とともに創造型の文化事業を展開した。

⑨ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業(映画会・講演会・コンサート等)の支援を行った。

⑩ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座と整合を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、3講座をそれぞれ年間10回開講した。また、ロビー展では、作品発表の場として開放し「ミニ美術館」として活用し、地域の小さな文化を掘り起こし、広めるとともに、優れた作品や文化的資料を展示して鑑賞の場を提供した。

□市民会館事業

⑪ 市民会館の管理運営

市民会館の管理運営については、会館以来年数が経過し年々古くなっており、利用者は減少気味である。

【学識経験者意見】

- メセナ八幡浜が25年度事業をもって解散したが、今後も市民が本物の芸術作品を鑑賞できるよう、積極的に企画していただきたい。
- 八幡浜郷土企画展「建築家松村正恒展」では、氏の功績を改めて知ることができた。郷土の先人を知る良い機会になっていると思う。地味ではあるが、今後もぜひ継続した企画をお願いしたい。

- 老朽化、利用者の減少に伴い、市民会館の廃止を検討されているが、廃止した場合の利用者の利便性確保について十分配慮していただきたい。また、跡地利用については、市民の意見を聴取して、慎重に検討してもらいたい。個人的には、規模を小さくした会館と市が収蔵している絵画等の美術品を展示したり、県展、市展等に利用できる常設の美術館があってもよいのではないだろうか考える。

【自己評価】

- 市民会館については、現在、市より市民会館運営審議会に対して、廃止その他についての諮問を行い、審議をして頂いているところであります。
諮問事項には、廃止した場合の利用者の利便性確保及び跡地利用についてのご要望をお聞きすることも含まれており、答申書に明記されるものと考えております。
- メセナ八幡浜が25年度で解散し、来年度からは市がその理念を引き継ぎ、文化芸術事業として再出発したいと考えている。市美術展、県展移動展等の開催も、市民に好評であるので、今後も文化協会、各種団体等と連携を図り充実していきたい。
- 八幡浜郷土企画展「建築家松村正恒展」は市内外の多くの方に見ていただく機会となり、松村氏の功績を広く知ってもらう機会となった。今後も八幡浜市ゆかりの偉人や郷土の歴史文化に関する展覧会を引き続き開催していきたい。